

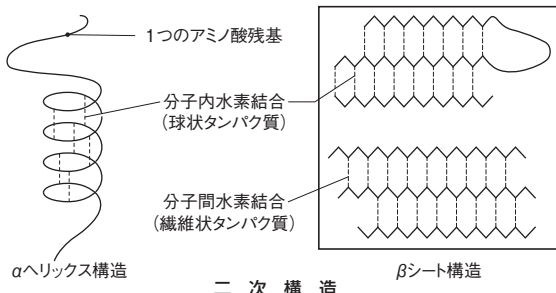
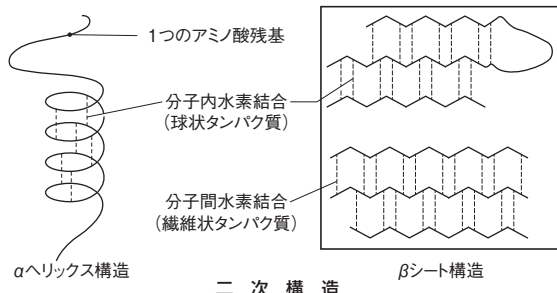
「改訂版 新編 生物基礎 教授資料」(生基 317)訂正のお願い

常日頃は弊社書籍をお使いいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、大変恐縮に存じますが、本書に下記の誤りがございました。心よりお詫び申し上げますとともに訂正内容についてご報告させていただきます。

誠に恐れ入りますが、ご指導の際にはご留意を賜りますようお願い申し上げます。

不備を残しまして、ご迷惑をおかけいたしますこと、重ねてお詫び申し上げます。

訂正箇所		原文	訂正文
頁	行		
83	右段 1	<p style="text-align: center;">αヘリッ</p> <p>クス構造では<u>1つ</u>のアミノ酸のCO基と<u>3番目</u>のアミノ酸のNH基とが水素結合し、</p>	<p style="text-align: center;">αヘリッ</p> <p>クス構造では<u>n番目</u>のアミノ酸のCO基と<u>$(n+4)$番目</u>のアミノ酸のNH基とが水素結合し、</p>
83	左下 図		
146	左段 5	<p>植生 一定地域に生育している<u>生物</u>の集団</p>	<p>植生 一定地域に生育している<u>植物</u>の集団</p>
203	左段 9	<p>ここでは4種類の塩基をそれぞれ6個ずつ用意しているので、約 2.6×10^5 通りのパターンが考えられる。</p>	<p>ここでは4種類の塩基をそれぞれ6個ずつ用意しているので、約 3.8×10^6 通りのパターンが考えられる。</p>

※お持ちの刷では、上記の訂正内容が修正済みの場合がございます。

以上